

| 令和4年度 札幌工科専門学校自己評価 | | |
|--|---|--|
| 1 | 学校自己評価は、本校教育経営マネジメントの一環として、1年間の教育活動、公務運営について評価を行い、反省点と課題を明らかにし、次年度の計画、改善に活かすことを目的とする。 | |
| 2 | 評価は、教職員が各項目について、担当者として及び全校的な視点から行うものとする。 | |
| 3 | 評価は下記の5段階で行うものとする。 5:良い 4:やや良い 3:普通 2:やや不十分 1:不十分 | |
| 4 | 所見欄には、評価について補完を要することや、次年度に向けての課題や改善策等についての意見を記入する。 | |
| 5 | 令和5年2月13日(月)までに回答を済ませること。 すべての回答が済んだら、右を「編集集中」から「完了」に変更すること。 | 完了 |
| I 教育理念・目標 | | |
| 項目 | 評価 | 所見 |
| ①教育目標は、学生・学校の実態に即し、本校の目指す目標として適切であったか (本校の教育目標は学生の実態に適合しているか) | 3.8 | It化が必用 概ね適合 おおむね適切であったと思います。 |
| ②学校教育目標は、学生に周知され、学生生活を送る上での指針となっていたか (学生にとって教育目標が学生生活の指針となっているか) | 3.7 | パラツキがある。 概ね指針となっている |
| ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか (将来予測される業界のニーズを踏まえた教育目標か) | 3.6 | It化が必用 概ねニーズは踏まえている |
| ④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか (学生や保護者に教育目標の意味を伝え、理解させているか) | 3.5 | 概ね周知されている |
| II 学校運営 | | |
| 項目 | 評価 | 所見 |
| ①本校の経営方針について共通理解が図られ、日々の教育活動に反映されていたか。 (経営方針:教育目標を実現させるために経営者が教員に示した指針) | 3.5 | 理解に差がある。 概ね反映されている |
| ②学校運営は協働体制のもと、円滑に進められたか | 3.2 | 概ね進められた |
| ③学校行事は的確な計画・内容のもと、円滑に進められたか | 2.9 | 学校行事への参加理解に差がある。 実施されたものは概ね円滑に進められた 新型コロナウイルス感染症の収束を望む コロナの中において出来る限り行事は進められたと思います。 体育大会を実施することができた。 |
| ④人事、給与に関する規程等は整備されているか (イーエスの就業規則に準じる。サイボウズ内で公開) | 3.8 | 整備中 概ね整備されている 整備されているが、勤務時間など実態に沿っていない部分がある |
| ⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか (発議から審議、決定までの流れが明確で組織的か) | 3.6 | 概ね整備されている |
| ⑥業界や地域社会等に対する法令を遵守する体制が整備されているか | 3.6 | 地域社会に対する意識が低い 概ね整備されている |
| ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4.0 | HP 新聞等での公開 概ね適切になされている HPで公開している |
| ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3.2 | 現在構築中 徐々に図られている サイボウズやGoogleを活用し徐々に効率化が上がっているが、 情報チェックが習慣化していない教員もいる。更なるIT化で業務を効率化したい |
| III 教育活動 | | |
| 項目 | 評価 | 所見 |
| ①教育課程(方針・内容)は、本校の教育理念・教育目標を適切に反映されたものであったか (教育課程(カリキュラム)は教育目標を達成させる内容か) | 3.7 | 教育理念の共通理解が不十分 概ね達成されている |
| ②今年度の教育課程編成は、適切・効果的であったか (教育課程を動かすために必要な人材や教材を編成しているか) | 3.1 | 人材が不足している。 概ね適切・効果的であった オンライン授業や臨時休校の補講のため、適切な配置と言えない期間もあった |
| ③教科科目の学年配置や時数の配分は適切であったか (現行カリキュラムにおける単位の配分は適切か) | 3.2 | 前後期の設置単位数の適化 概ね適切であった |
| ④シラバスの内容や使用教材は適切であったか | 3.4 | It化が必用 概ね適切であった おおむね進めることができたと思います。 |
| ⑤授業はシラバスどおりに進めることができたか | 3.2 | 進めるのに困難を感じた。 コロナ禍の影響があったが概ね進めることができた |
| ⑥少人数制教育による指導の成果が発揮されていたか | 3.4 | 教職員間で差がある。 合同授業、遠隔授業により成果が発揮できていない場合もあった |
| ⑦学生の理解度に合わせ、「よく分かる授業」の推進に努めたか | 3.2 | さらに検討が必要 合同授業、遠隔授業により一方的な内容になる場合もあった |
| ⑧成績不振者への対応は適切に行われていたか | 3.2 | 教職員間で差がある。 概ね対応した 一部、放課後を利用して個別指導を行っている |

| | | | |
|---|-----|---|---|
| ⑨ 学生による授業評価を学習指導の改善に役立てることができたか (前期・後期の2回実施) | 3.5 | IT化などさらなる改善が必要 概ね学習指導の改善に役立てることができた 自分なりに改善することが出来たと思います。 前期は教員からのフィードバックを試してみた。集計の負担は増えたが、多少は学生との摩擦軽減になったと考える。 | |
| ⑩ 教科科目の評価・評定は適切に行われたか (評価はシラバスに示した基準で算出しているか) | 3.9 | 概ね行われた | |
| ⑪ 定期試験・追再試験の実施(時期・時間等)は適切であったか | 3.3 | 指導が不十分であった。 夏季休業直後の定期考査の実施は成績不振者が増加した傾向に感じた おおむね適切であったと思います。 前期末試験の時期を要検討 | |
| ⑫ 資格取得指導は適切・効果的に進められたか | 3.4 | 既存の資格試験以外への対策体制の整備 施工管理で不合格者2名 適切に進められた 残念ながら施工管理技士の合格100%に至らなかった | |
| ⑬ 現場見学・インターンシップ(企業実習)は適切・効果的に進められたか | 3.9 | 適切に進められた | |
| ⑭ 学生へのマナー指導や社会性を身に付けさせる指導は適切に行われ、満足する状況にあるか | 3.1 | 困難な状況 概ね適切だった マスク、土足、スマホ禁止等のルールを守らない学生がいた | |
| ⑮ 学生個々の理解に努め、適切な指導が行われていたか (学習指導、生活指導、進路指導) | 3.5 | 学力差に対応が十分でない。 概ね適切だった | |
| ⑯ 体育大会、学園祭等は学生主体のもとその目的を達成できたか (体力向上と親睦、学習の成果を発揮) | 2.6 | 体育大会は行えたが、コロナを理由に学園祭は中止した。 コロナ禍のため中止となったものもあったが、実施されたものについては目的を達成できた 新型コロナウイルス感染症の収束を望む しっかりと学生が主体となってできていたと思います。 体育大会のみ接触の少ない種目で実施することができた | |
| ⑰ 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか (関係業界との連携により得た見識を教育課程に反映しているか) | 3.7 | 概ね行われた | |
| ⑱ 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか (学校関係者評価、教育課程編成委員会の意見を活かしているか) | 3.7 | 十分改善に至らない。 概ね生かされている | |
| ⑲ 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか (将来、学校の中核を担う若手教員を確保し、その育成に努めているか) | 2.3 | これから3D・AI・DXなどに対応できる教員が必要である。 測量に関する専門の養成施設の登録に必要な専任教員と若手教員の確保が必要 将来のため若手教員の育成が急務である | |
| ⑳ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など 資質向上のための取組が行われているか | 3.0 | 自己啓発支援制度はあるが、時間割等の日程調整が付け難く、希望の講習会を受講できない 学内で学生と共にCPD認定講習などを受講している | |
| IV 学修成果 | | | |
| | 項目 | 評価 | 所見 |
| ① 教育目標の達成度 (1)基礎学力の向上 | | 3.6 | 多様な学生への対応が難しい 概ね向上が図られた おおむね達成できたと思います。 |
| ② 教育目標の達成度 (2)専門の基礎知識・技術の習得 | | 3.7 | 多様な学生への対応が難しい 概ね習得が図られた |
| ③ 教育目標の達成度 (3)社会人になるためのマナーと教養を身につける | | 3.4 | 多様な学生への対応が難しい 概ね図られている |
| ④ 進学率や就職率の向上が図られているか | | 3.8 | 多様な学生への対応が難しい 概ね向上が図られた おおむね決定した |
| ⑤ 資格取得率の向上が図られているか | | 3.7 | 概ね向上が図られた 残念ながら施工管理技士の合格100%に至らなかった |
| ⑥ 退学率の低減が図られているか | | 4.0 | 概ね図られている 1人も退学者が出なかった |
| ⑦ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | | 3.3 | 十分ではない。 ある程度は把握している 卒業後、連絡のあった者は記録している |
| ⑧ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか (卒業生より本校への要望を聞き入れ改善しているか) | | 3.3 | 概ね改善に活用されている |
| V 学生支援 | | | |
| | 項目 | 評価 | 所見 |
| ① 進路指導は学生のニーズ・適性等に即し、適切に進められたか | | 3.6 | 概ね進められた おおむね進められたと思います。 slackを使うことによって公務員採用情報、民間求人、説明会情報などを以前よりタイムリーに周知することができるようになった |
| ② 保護者との連携は密接・効果的に行われていたか | | 3.6 | 必要に応じて行った 電話だけでなく公式LINEでも保護者から問い合わせが来るようになり、対応している。 |
| ③ 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか | | 3.7 | 概ね行われた |
| ④ 学生の安全管理のための取組等が行われているか (学生を事件・事故から守る手立てを事前に行っているか) | | 3.7 | 意識に差がある。 概ね行われた |

| | | |
|--|-----|--|
| ⑤学生・保護者からの相談体制が整備されているか | 3.6 | 学生・保護者(委託企業)に合わせ対応を行った 直接またはslackで学生からの問い合わせに対応している |
| ⑥進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか | 3.6 | 概ね整備されている |
| ⑦学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4.0 | 概ね整備されている 修学支援新制度や教育訓練給付金などを紹介している |
| ⑧学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか | 3.6 | 概ね整備されている |
| ⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか | 2.8 | 概ね整備されている |
| ⑩学生の生活環境への支援は行われているか | 3.2 | 概ね行われた |
| ⑪卒業生への支援体制はあるか | 3.4 | 概ね整備されている |
| ⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか (本校の教育力を一般の方に提供する環境はあるか) | 3.4 | 概ね整備されている 本校の教育力に期待され、樹木医試験に向けた研修の依頼に応えた |

VI 教育環境

| 項目 | 評価 | 所見 |
|----------------------------|-----|--|
| ①教室・実験室等の規模や配置は適切であったか | 3.1 | 部屋が不足している。 各学科の学生数増減に合わせた利用目的、配置換えの検討が必要と感じる 実験室は狭いのでグループ分けして行っている |
| ②校舎内外の施設設備の充実、維持管理は適切であったか | 3.0 | 不足している場所がある。 概ね適切であった |
| ③実験実習設備、機械類の整備・活用は適切であったか | 3.2 | 概ね適切であった |
| ④蔵書を含めて図書閲覧のニーズに応えられていたか | 3.3 | 最新の図書が不足している。 概ね整備されている |
| ⑤情報機器の充実及び活用状況は適切であったか | 3.4 | 概ね適切であった |
| ⑥校舎は衛生的(清掃・美化)に管理されていたか | 3.8 | 概ね管理されている しっかりと管理されていると思います。 |
| ⑦防災に対する体制は整備されているか | 3.5 | 概ね整備されている |

VII 学生の受け入れ募集

| 項目 | 評価 | 所見 |
|--|-----|---|
| ①学生募集及び入学選考は、時代の変化、学生の実態に対応したものとなっていたか (少子化、大学全入時代による一般学生の減少。基礎学力、学習適応力の欠如) | 3.6 | 概ね対応している |
| ②広報活動(体験入学を含む)の内容、方法、実施時期等は適切であったか | 3.6 | さらなる工夫が必要 概ね適切である 年々、高校の進路指導時期が早期化している。高校2年生へのアプローチ強化が必要と考える。 |
| ③学納金は妥当なものとなっているか | 3.5 | IT化による教材費等削減が必用 概ね妥当である |

VIII 財務

| 項目 | 評価 | 所見 |
|--|-----|-----------|
| ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか (本校HPの情報公開にて開示) | 3.7 | 概ね安定している |
| ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.7 | 概ね妥当である |
| ③財務についての会計監査が適正に行われているか | 4.0 | 適切に行われている |

IX 法令等の遵守

| 項目 | 評価 | 所見 |
|--|-----|--|
| ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか (専修学校設置基準) | 4.3 | 概ね運営がなされている 適正な運営と思います。 |
| ②個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか | 4.0 | 保護対策が必要と思われる情報もある 個人情報の取扱いについて意識を高める必要がある |
| ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3.7 | 行っている |
| ④自己評価結果を公開しているか (本校HPの情報公開にて開示) | 4.4 | 公開されている HPで公開している |

X 教育活動全体及び学生の実態について、昨年度と比較して良かった点・悪かった点

・学校運営についてはまだまだ円滑に行われたとは考えにくいです。コロナ禍の中で授業運営を行わなければならないという困難さはあったことは認めざるを得ません。教員同士の連携についてはスムーズに行かない場合が多々あったので、この事実を一人一人が認識して原因を究明し、そこを改善して行かなければ円滑に進めることはできないと思われる。

・本年度もコロナ感染者が出てオンライン授業で行った日も少なくなかった。昨年と比べPC等通信機器の準備については大きなトラブルはなかったようだ。ただ、学生もオンライン授業になれ、登校しないで授業を受けることが出来る利点を利用し正当な理由がないのに許可してほしいと不当な要求した学生がいた。協働体制で臨む必要がある。

・多様な学生への対応は教員間で差がある。

・【良かった点】オンライン授業ツールに慣れてきたためか、教員による設置や実施等に関するトラブルが減ってきたと感じた。

・【悪かった点】新型コロナウイルスの感染拡大による、教育環境の確保の対応として、オンライン授業が実施されたが、臨時休校等の学生全員が共通する状況以外(交通障害等)の場合での実施は、オンライン授業を希望する学生が、わざと学校に来ないという状況も起こることが分かった。有用な学習ツールではあるが、生徒自身の自己管理能力がなければ、学習格差を生むリスクが大きいと感じた。

・資格取得の指導が不十分だった。また、専門学校における学生指導の在り方について深める必要がある。

・昨年度はコロナが現在より蔓延していてZOOM授業もある程度クラス単位でまとまって行っていたが今年度は一人二人の為にZOOM授業の準備をして行うということがありました。それが良いか悪いか分かりませんが来年度以降ZOOM授業のありかたについてもう少しかんがえてみてはいいかなと思います。

・公務員の大卒区分に複数の合格実績をあげることができた。今年度、全学生の約半数がコロナに罹患し、オンライン授業や休講・補講で効果的な授業とは言えない期間もあった。ますます多様な学生への丁寧な対応が求められると感じる一方で、学生の考え方が自己中心的になっているとも感じる。

・昨年度在籍していないため、記載できません。なお、評価については、授業をもっていないこと、年度途中の契約期間内での採用ということから、わからないことも多く、明確にわかること以外は3を中心につけてさせていただきました。